

ただ眺めているだけで楽しいかもしれない古地図だが、手に持って実際に街を歩いてみるのがお薦めとの声もたくさん聞いた。

今はスマホやタブレットで見ることができ、デジタル古地図が便利。全球測位システム(GPS)機能を使って自分が今いる場所を古地図上に表示することや、その場所を一瞬で現代地図に切り替えるといったことが自由自在だ。

「大江戸今昔めぐり」「古今金澤」――全国各地で企業などがこのような

古地図アプリを開発しており、街の活性化や新たなビジネスにつなげようと無料で提供する例も珍しくない。今回は京都市のIT企業、コギトが開発した「アンブリアマップ(ambulia map)」を使って都内を歩いてみた。

このアプリの中には江戸や京都など約50種類の古地図が入っている。このうち使ったのは尾張屋敷の切絵図「本郷絵図」。現在の東京都文京区あたりだ。

初夏の日差しの下、JR御茶ノ水駅から歩き始める。アプリには名所ガイドもついており一人でも楽しめるのだ

が記者だけではやはり頼りない。コギトに古地図データを提供している企業、こちずライブラリの沼田夕妃さんにコース設定と案内をお願いした。

お茶の水橋を渡って右手に進むと坂道に沿って趣のある塀が続く。古地図を見ると、青い丸で自分のいる場所が表示されている。緑の木々が描かれた「聖堂」と書かれた場所に沿って歩いていることがわかる。そう、今も昔もここは湯島聖堂。幕府直轄の昌平坂学問所が置かれていた場所だ。

近くの神田明神に移る。ここも江戸

時代から有名で、古地図にもイラスト入りで表記されている。正面から入ると気づかなかったが、本殿の裏に回ると小高い場所であることがわかる。「昔はここから浅草方面をずっと見渡せました」と沼田さん。今はビルに囲まれるが、ここから遠くを眺める浮世絵図が残る。

「妻恋坂はここだけど、すぐ横に書いてある『立爪坂』はどこだ?」。古地図には小さな坂道の名称まで細かく書いてあることがある。神田明神から湯島方面に向かう途中、なにげない坂道を

昔と照らし合わせるのも面白かった。道といえば、沼田さんがこんなことも言った。「道の曲がり方が不自然だと思ったら古地図を見ます。すると答えがあったりします」

湯島天神や不忍池を経て、東京大学方面に向かい、その敷地沿いを歩いてきたときだ。道がクランク状に何度も曲がっている。古地図に目を落とすと、江戸時代から武家屋敷や寺社の敷地に沿って道が曲がっていたことがわかった。突然盛り上がった道はかつて橋だったとか、曲がりくねった道は水路だったとか古地図を見て知ることはいろいろあるようだ。

東大の敷地をぐるっと回って赤門にたどり着く。加賀藩前田家の広大な屋敷跡が東大の敷地。有名な赤門はその屋敷の門。浮世絵にも描かれている。門の前の武士や町人が行き交う道は今の本郷通りだろうか。

その本郷通りを北に進み、途中で右手に折れて根津神社に至り、この日のゴールとなった。この神社も江戸期からの名所。この境内、見る方角によっては周りの建物がまったく視界に入らない。歩き回ったら江戸に迷い込んだといった気分が最後に少し味わえた。

「東京都心は江戸時代からそのままのところも、変わっているところも両方あるので古地図散策が面白い」沼田さん。予想以上に楽しい3時間を過ごせた。

古い地図は実用的にも使える。江戸時代の地図では難しいが、近代的な測量技術が導入された明治期以降の地図ならば、縮尺をそろえて位置合わせをすれば、現代の地図とほぼ正確に重ねることができる。今の場所がかつてどのような土地だったかがわかるのだ。

沼津工業高等専門学校(静岡県沼津市)の佐藤宗徳教授は同じ場所を現代や明治大正期、昭和前期など数種類の地図で表示することができるウェブサイトを「作り公開している。そのサイトを見ながら静岡のある街を一緒に歩いてもらった。印象に残ったのは小さな水路を挟んで両側に立つ2つの建物。昔の地図を重ねると片側はかつて沼地だ。そちら側に立つ建物の浸水リスクはもう片方より高いことが一目瞭然だった。

佐藤教授は「実際に歩き、地図を合わせて初めてわかることがある」と指摘する。それはリスクマネジメントにもつながる。古地図は確かに奥が深い。

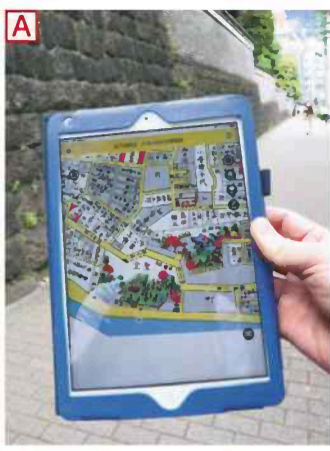
山口聡 鈴木健撮影



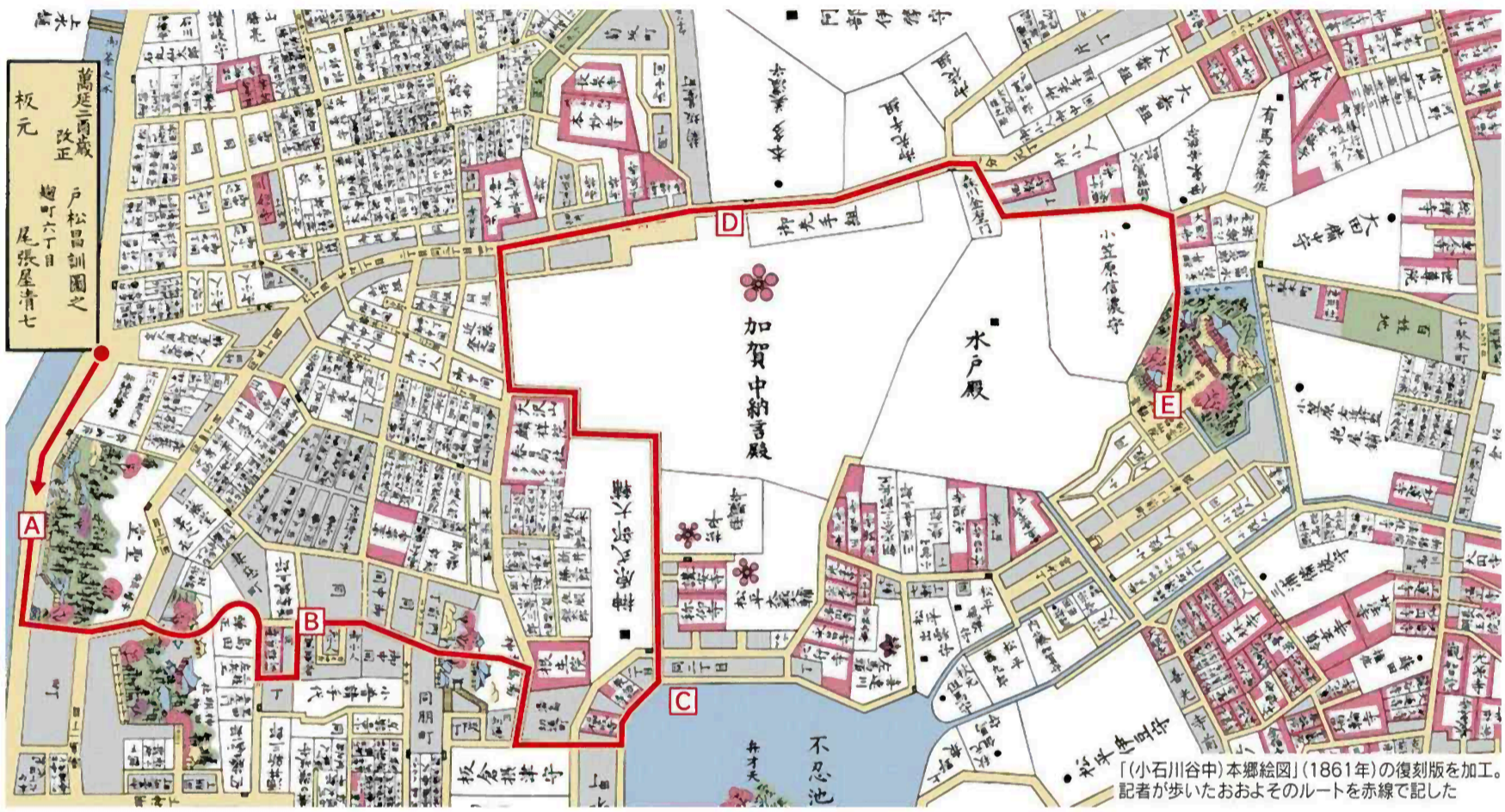
時代劇のロケにも使われるという根津神社(東京都文京区)



東京大学の赤門は加賀藩上屋敷の門だった(東京都文京区)



アプリを使えば古地図上で自分がどの辺にいるのかがすぐわかる(東京都文京区)



〔小石川谷中〕本郷絵図(1861年)の複製版を加工。記者が歩いたおおよそのルートを赤線で記した



「古地図のこの場所は今のどこ?」と散策は盛り上がった(東京都文京区、右から2人目が沼田さん、左端が記者)



不忍池(東京都台東区)も江戸時代からの名所